

1943（昭和18）年

月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年1月の出来事
1	1	金			東京	0615総員起床 0625課業始メ 甲板掃除 0800四方拝ニツキ船飾施行 0900新年遥拝式
	2	土			東京	
	3	日			東京	0800元始祭ニ付船飾施行
	4	月			東京	
	5	火			東京	0800新年宴会ニツキ船飾 0900新年宴会ニツキ休業
	6	水			東京	
	7	木			東京	0900課業始メ 各櫓動索取付ケ及雑業 1245課業始メB帆検査修理及び櫓桁動索取付ケ
	8	金			東京	
	9	土			東京	
	10	日			東京	
	11	月			東京	
	12	火			東京	
	13	水			東京	
	14	木			東京	0900課業始メ 総帆上架 1245課業始メ 総帆上架 1545補課始メ引続キ総帆上架
	15	金			東京	
	16	土			東京	
	17	日			東京	
	18	月			東京	
	19	火			東京	
	20	水			東京	1245課業始メ 各帆取外シ格納 第二船艙整理
	21	木			東京	0900課業始メ 各帆取外シ格納 第一船艙整理 1145食糧米47俵搭載施行ス 1245課業始メ各櫓動索取外シ格納作業 第一船艙整理
	22	金			東京	0900課業始メ 一番船艙整備 1245課業始メ 一番船艙整備整頓 後櫓木製帆桁降下作業
	23	土	東京	横浜	東京 横浜瑞穂A岸壁"A"	0900課業始メ 木帆桁降下作業 一番船艙整備及出港準備 1305抜錨 1600京浜港横浜区瑞穂町岸壁"A"ニ左舷側ニテ繋留ス
	24	日			横浜	0610課業始メ 木帆桁降下作業 二番船艙撤去整備 0900課業始メ 木帆桁降下作業 二番船艙整備、三番船艙整備、食糧庫内整備 1245課業始メ 二番船艙、雨衣室、食糧庫整備作業 木帆桁及各櫓索具撤去格納及雑業
	25	月			横浜	
	26	火			横浜	0900課業始メ 第1、2番艙取片付及雑業
	27	水			横浜	0900進水記念日ニ付船長訓示 1000船長、次一運、武官府ニ出頭ノ為上陸
	28	木			横浜	0815起重機来船シ帆桁降下開始ス 0900課業始メ 一番船艙整備作業 凹甲板方付作業 1245課業始メ 一番船艙整備作業 帆桁降下作業
	29	金			横浜	1245課業始メ第1番船艙整備 主櫓最下帆桁降下
	30	土			横浜 浅野第2船渠	1150船渠長指揮ノ下ニ2号船渠ニ向フ 1230浅野船渠第2船渠ニ繋止ス入渠終了 1435船渠内排水開始ス 1450船底坐床ス 1720排水終了
	31	日			横浜 浅野第2船渠	0800船渠工具作業開始 第一番及第二番船改造工事
(記事) 1942（昭和17）10月1日～3月23日第十三期生徒86名乗船 横浜への移動以外は、停泊して船内作業を実施。東京停泊中の1月20日より帆の取り外し、1月22日より帆桁の取り外し作業が始まる 1月30日に浅野船渠に入渠						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年2月の出来事
2	1	月			横浜 浅野第二号船渠 山内町棧橋	0910船渠内漲水ヲ始ム 1015船渠門ヲ開ケ 1040出渠開始 1048出渠終了山之内岸壁"E"ニ向フ 1125山之内岸壁"E"ニ左舷繋留終了 1310転繋作業 1330転繋作業終了シ山之内岸壁"F"ニ右舷繋留完了ス 1515船長 次一運海軍武官府出頭ノ為上陸

	2	火			横浜 山之内内棧橋”F”	0610課業始メ バラスト揚荷準備及雑業 0800荷役人夫（15）バラスト揚荷始ム 0900課業始メ 生徒バラスト揚荷及雑業 1300課業始メ バラスト揚荷監督及助力作業 1600荷役揚荷作業止メ退船ス
	3	水			横浜 山之内町岸壁”F”	0845船渠工員一番船艙改造工事作業
	4	木			山ノ内町棧橋”F”	0610課業始メ 自習 二番船艙整備作業 0700バラスト陸揚げ荷役始ム 0900課業始メ バラスト食糧庫へ移動作業 一番船艙整理及雑業 船渠側工事 一番船艙木工事 1245課業始メ 縦帆動索取付ケ バラスト食糧庫移動及雑業 1600バラスト陸揚荷役止メ
	5	金			山ノ内棧橋”F”	0730バラスト陸揚荷役始ム 0900課業始メ 縦帆索具取付食糧庫整備 バラスト陸揚 1245課業始メ 各櫓ゲルン・トップ以上塗粧作業 バラスト陸揚 食糧庫整備 1330横浜海務局船舶部長来船サル 1800バラスト陸揚止メ
	6	土			横浜 山内岸壁”F”	0610課業始メ 一番船艙及雨天作業場清掃作業 0730バラスト陸揚荷役開始ス 0900課業始メ バラスト陸揚作業 一番船艙掃除 凹甲板片付 遮光幕作成及雑業 1245課業始メ二番船艙掃除 バラスト陸揚
	7	日			横浜山内岸壁”F”	0900課業始メ 第2船艙整備 凹甲板バラスト荷役後始末 1245課業始メ 第3船艙内整備
	8	月			横浜山内”F” 第二区錨地	0610課業始メ第1番艙内整備 試運転出港準備作業 0900大詔奉読式挙行 並 船長訓示（試運転実施） 1515船長 次一運 首通士武官府出頭ノ為上陸ス 1800訓練警戒管制発令 灯火管制施行ス
	9	火			横浜第二区検疫錨地	1300船長、一運、次一運 機長 首通士上陸ス（横浜武官府行） 1830 1930防火防水部署説明
	10	水			横浜第二区検疫錨地	0610課業始メ 銃器手入 金物手入及雑業 0900課業始メ 二運及生徒87名 横濱海上交通保護要領聴講ノタメ上陸
	11	木	横浜	神戸	横浜	0800紀元節ニ付キ船飾 0900紀元節巡拝式挙行ス 終ツテ船長祝賀 並今航海ニ対スル訓示（於後甲板） 1105抜錨横浜発神戸ニ向フ 1540之字運動（B）開始 1720之字運動（B）中止 2400船内及船隊異常無シ
	12	金	横浜	神戸		0700之字運動（A）法開始 0800船隊異常無シ 0900之字運動（A）法中止 1200船内及船隊異常無シ 1400之字運動（B）法開始 1500之字運動（B）法中止 1600神崎丸第四番船トシテ列ニ加ハル 船内及船隊異常無シ 2000船内及船隊異常無シ
	13	土	横浜	神戸	神戸兵庫突堤Ⅰ	0200護衛艦護衛ヲ止ム 0400船内及船隊異常無シ 0900課業始メ 船内整備作業 入港準備作業及雑業 船長今航海ニ対スル訓示 1130右舷繫留終了神戸着 1430船長 次一運 海軍武官府出頭ノ為上陸ス
	14	日			神戸兵庫突堤Ⅰ	
	15	月			神戸碇泊	
	16	火	神戸	栗島經由若松	神戸	0520他船火災ノタメ総員起床部署ニ付ク 0830士官及生徒総員海王丸ニ赴ク 海王丸後甲板ニ於テ海運報国団神戸支団次長挨拶 1000神戸発栗島ニ向フ 1935投錨 機関終了
	17	水	神戸	栗島經由若松	栗島錨地	0620抜錨栗島沖仮泊錨地発栗島錨地ニ向フ 0650投錨栗島着 0845栗島商船学校教官2名来船サル 1000船長 機関長商船学校及各関係方面公式訪問ノ為上陸ス 栗島商船学校教官10名及生徒総員本船見学ノ為来船ス 1300次一運及生徒70名栗島商船見学上陸
	18	木			栗島錨地	0730船長、一運、三運、機長、一機、船医、次通士生徒74名及普通海員12名上陸ス（金比羅参拝）
	19	金	栗島	若松	栗島錨地 部埼錨地	0630抜錨栗島発若松ニ向フ 0640栗島商船学校ト交信ス 2230部埼沖通過 2235仮泊用意 2245仮泊ス機関終了
	20	土	栗島	若松	部崎錨地 若松第5第6浮標間	0715抜錨 0950若松着機関終了 1245課業始メ 荷役下準備作業及雑業

	21	日			若松	0625課業始メ 石炭荷役下準備作業 0830生徒37名普通海員14名日曜半日宛半舷上陸許可ス 船内人夫来船ス 0900課業始メ 荷役助力及荷役見学並監督及雑業 0915石炭搭載荷役ヲ次ノ通り施行ス 第二船艙0920～1625（コンペアー故障ノ為 中止時間2－20） 凹甲板1625～1800 第一船艙1815～2155（同上理由ニ依リ中止時間2－00） 1245課業始メ 荷役助力及荷役監督並見学及雑業 2155石炭搭載荷役終了 船内人夫退船ス 搭載量657噸
	22	月	若松	尼崎	若松	0625課業始メ 荷役後始末及船内整備作業 1320若松発
	23	火	若松	尼崎	和田岬仮泊	1930和田岬沖仮泊 機関終了
	24	水	若松	尼崎	尼崎 日本発送電岸壁	0810抜錨 0811尼崎港ニ向ケ航進ス 1200日本発送電岸壁ニ左舷ヲ以テ繋留ス尼崎着 1245船内人夫（25名）乗船ス 1300課業始メ 当直生徒及普通海員石炭揚荷役監督及助力 1310凹甲板石炭揚荷役開始ス 1400第一船艙揚荷役始ム 1540凹甲板及第一船艙荷役中止 1630凹甲板及第一第二船艙荷役再ビ始ム（夜間通シ揚荷役）
	25	木	尼崎	神戸	尼崎(日本発送電岸壁) 神戸（第14号浮標）	0530第一船艙揚荷役終了ス（揚荷120噸） 0730船内人夫交代ノ為凹甲板及第二船艙揚荷役中止 0830船内人夫来船第二船艙及凹甲板揚荷再開ス 0900課業始メ 生徒総員及普通海員非番舷日本発送電尼崎発電所見学 当直舷普通海員石炭揚荷監督及助力 1245当直生徒及普通海員揚荷監督及助力 凹甲板後片ヅケ及雑業 1530第二船艙及凹甲板揚荷終了 揚荷役完了ス 1607尼ヶ崎日本発送電岸壁ヲ発チ神戸ニ向フ 1755神戸港着機関終了
	26	金			神戸第14浮標	0610課業始メ 荷役後始末及雑業
	27	土			神戸第十四浮標	
	28	日	神戸	高松	神戸第14浮標 高松港外錨地	0700料理人乗船（日本郵船派遣） 0820神戸発高松ニ向フ 1510高松着
（記事）1942（昭和17）10月1日～3月23日第十三期生徒86名乗船 2月上旬工事ならびに船内整備作業等実施 11日～13日横浜から神戸に向けて航海。戦時緊急物資輸送（石炭輸送）開始。2月16日神戸発20日若松着21日石炭搭載22日若松出港24日尼崎日本発送電着、石炭揚荷25日揚荷終了神戸へ出航同日神戸港着 28日～3月13日、2回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送）						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年3月の出来事
3	1	月			高松港外錨地	0730一運、二運、三運、機長、二機、船医、事務長、首通士、生徒（42）及普通海員（19）屋島行軍ノ為上陸ス
	2	火			高松碇泊	
	3	水	高松	若松	高松港外錨地	0825高松発若松ニ向フ
	4	木	高松	若松	部埼錨地仮泊	0350投錨 機関終了 0625当直員課業始メ 第1、2番船艙清掃 1600補課始メ 軍歌
	5	金			部埼錨地仮泊	
	6	土			部埼錨地仮泊	
	7	日			部埼仮泊	
	8	月	部埼	若松	部埼仮泊 若松碇泊	1255部埼仮泊錨地発若松ニ向フ 1600若松着機関終了
	9	火			若松碇泊	0900普通海員荷役準備作業 1000船内人夫18名乗船 第2番船艙石炭積荷役始ム 1300休業（但シ荷役監督就業） 1630第2番艙及凹甲板荷役終了（545噸）第1番艙始ム 1830第1番艙荷役終了（140噸） 船内人夫（18名）退船
	10	水	若松	尼崎	若松	0900出港準備作業 1420若松発尼崎ニ向フ
	11	木	若松	尼崎	梶取鼻沖仮泊 尼崎沖仮泊	2215（尼崎沖）仮泊 機関終了
	12	金	若松	尼崎	尼崎 日本発送電岸壁 尼崎沖仮泊	0810抜錨 0945日発岸壁ニ繋留完了尼崎着 船内人夫来船 1040一番、二番船艙及凹甲板石炭揚荷開始 1500尼崎鉄鋼所見学ノ為生徒77名上陸ス（4、6号救命艇使用） 2120一番船艙荷役終了
	13	土	尼崎	神戸	尼崎（日本発送電岸壁） 神戸(第14番浮標)	0320凹甲板荷役終了 0520二番船艙荷役終了 0550人夫退船ス 0900課業始メ 荷役後始末 1000尼崎港発 1200第14番浮標ニ繋留終了（右）神戸港着 機関終了
	14	日			神戸	0830次三運及生徒42名摩耶山登山ノ為上陸 1300日曜日ニ付午後休業

	15	月			神戸	0610課業始メ燃料炭揚陸準備及雑業 1215石炭舁来船 1300課業ナシ休業 人夫20名来船ス 1315荷役開始 1820荷役終了 人夫退船ス
	16	火	神戸	若松	神戸(14番浮標)	0910神戸発若松ニ向フ
	17	水	神戸	若松	部埼錨地仮泊	1350部埼錨地ニ仮泊ス 機関終了 1400生徒総員身体検査施行
	18	木	神戸	若松	部埼錨地仮泊 若松港外仮泊	0900課業始メ 生徒総員後期考査 1300課業始メ 生徒総員後期考査 1730抜錨部埼仮泊錨地発若松ニ向フ 1855若松港外仮泊機関終了
	19	金	神戸	若松	若松港外仮泊、若松港第2第3浮標間”B”	0843抜錨 1130若松港着 1300生徒総員考査 1500人夫来船ス 1520第二番船艙荷役開始ス 2100荷役中止 人夫退船ス
	20	土	若松	尼崎	若松港	0800船内人夫23名乗船 0830第1, 2船艙及凹甲板石炭積荷役始ム 0900課業始メ荷役監督及助力 1020第1船艙荷役終了(102噸) 1030第1及凹甲板荷役終了(490噸) 船内人夫(23名)退船 1200若松港発尼崎ニ向フ
	21	日	若松	尼崎	尼崎、日本発送電岸壁	1830日本発送電岸壁ニ繋留ス尼崎着 1900船内人夫40名乗船 2000第1船艙揚荷役始ム 2100第2及凹甲板揚荷役始ム
	22	月	尼崎	神戸	尼崎、日本発送電岸壁	0400船内及揚荷役異常無シ 0800第一船艙揚荷役終了 0900普通海員揚荷監督 1300課業始メ船内大掃除及荷役後始末 1530課業止メ第二船艙荷役終了揚荷役完了ス 1600尼崎発神戸ニ向フ 1755神戸着 1930茶話会開始 2200生徒茶話会終了
	23	火			神戸 第16番浮標	1000第十三期生下船式施行 1130会食施行 1330生徒81名下船ス 1340生徒用毛布乾シ方
	24	水			神戸港碇泊	0610生徒居室片付掃除及雑業
	25	木			神戸	1300食糧品積込
	26	金	神戸	若松	神戸 第16番浮標	1110神戸発若松ニ向フ
	27	土	神戸	若松	部埼錨地仮泊	1420仮泊ス機関終了
	28	日	神戸	若松	部埼錨地仮泊	0610課業始メ 石炭積込準備 0900日曜ニ付午前休業 1250部埼仮泊錨地発若松ニ向フ 1615若松港着機関終了
	29	月			若松	0610課業始メ 荷役準備作業 1300課業始メ 荷役監督及燃料炭積込助力 1330第二番船艙積荷開始ス 船内人夫来船 1630燃料炭20噸右舷石炭庫ニ積込完了 1730第二番船艙積込中止ス 船内人夫退船
	30	火			若松	1430二番船艙及凹甲板積荷開始(165噸) 1552二番船艙及凹甲板積荷終了 1600一番船艙積荷開始(143噸) 1730荷役終了(総数量649噸) 人夫退船ス
	31	水	若松	尼崎		0735若松港発尼崎ニ向フ
	(記事) 1942(昭和17) 10月1日〜23日第十三期生徒86名乗船 2回目(2月28日〜13日)、3回目(16日〜22日)、4回目(26日〜4月3日)の戦時緊急物資輸送(石炭輸送)実施					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年4月の出来事
4	1	木	若松	尼崎	尼崎 日本発送電岸壁	1535日本発送電岸壁ニ繋留ス尼崎着 1600船内人夫26名乗船 0715第一番船艙揚荷役始ム 1730第二船艙及凹甲板揚荷役始ム(夜間通荷役)
	2	金	尼崎	神戸	尼崎、日本発送電岸壁 神戸、第24番浮標	0410〜0500第二船艙揚貨機具故障修理ノタメ一時荷役中止 再開 0900課業始メ 荷役監督及助力 0940第1番艙揚荷終了 1030第2番艙揚荷終了 1330凹甲板揚荷終了 揚荷完了ス 1420尼崎発神戸ニ向フ 1600繋留完了(右)機関終了 1610作業開始 荷役後始末
	3	土			神戸 24番浮標	0555課業始メ 全航海終了ニ際シ船長訓示 800神武天皇祭ニツキ船飾施行ス
	4	日			神戸 24番浮標	
	5	月			神戸	0555課業始メ 展帆乾燥 0900課業始メ 一番船艙清掃 1300課業始メ 一番船艙清掃 1820警戒警報発令中ニ付キ灯火管制施行ス
	6	火			神戸	0555課業始メ 展帆乾燥 0900課業始メ 二番船艙内清掃 1820警戒警報発令中ニ付キ灯火管制施行
	7	水			神戸	1825警戒警報発令中ニ付灯火管制施行

	8	木			神戸	1300課業始メ第2番艙石炭搬出 1825警戒警報発令中ニ付灯火管制施行ス
	9	金			神戸	1830警戒警報発令中ニ付灯火管制施行ス
	10	土			神戸	
	11	日			神戸	1300日曜日ニ付午後休業トス
	12	月			神戸	
	13	火			神戸	
	14	水			神戸	1400米穀45俵搭載
	15	木			神戸	
	16	金			神戸	0900課業始メ 生徒便所浴場内手入
	17	土			神戸	0900課業始メ 生徒便所及浴室手入
	18	日			神戸	0540課業始メ 生徒浴室手入 1300日曜日ニ付午後休業
	19	月			神戸	0900課業始メ 生徒居室清水拭キ 1300課業始メ 生徒浴室手入
	20	火			神戸	0540課業始メ 生徒浴室手入 0900課業始メ 生徒浴室内錆打手入
	21	水			神戸	
	22	木			神戸	1050航海訓練所々長以下9名来船ス 1120所長一行離船シ大成丸ニ向フ 1127船長大成丸ニ向フ 1305 1445 練習船事務打合ノ為三練習船職員及航海訓練所所員来船ス 1445打合会議開始 1600会議終了
	23	金			神戸	1030一運一機生徒6名普通海員11名海事三団体主催招待午餐会ニ出席ノ为上陸 1115二運入院ノ為下船
	24	土			神戸	0800靖国神社臨時大祭ニ付キ船飾施行ス 0945会計検査官2名及訓練所々員1名来船ス 1015靖国ノ英霊ニ対シ感謝ノ黙祷ヲ捧ゲ
	25	日			神戸	1300課業無シ 日曜日ニ付午後休業
	26	月			神戸	0900課業始メ 一、二、三番船艙及食糧庫（2）消毒準備作業 1135一等運転士下船式ヲ行フ 1300一運下船サル
	27	火			神戸	0900課業始メ船内硫黄消毒準備作業 1000港務官2名来船 1015船内硫黄消毒開始ス 1100港務官総員ニ対シ船内消毒ニ関スル講話 1715船内硫黄消毒終了各消毒場所ヲ開放ス 異常無シ
	28	水			神戸	0540課業始メ 消毒後始末
	29	木			神戸	0800天長節ニ付キ船飾施行 0900総員後甲板集合 天長節遥拝式举行 船長祝詞 0940天長節ニ付キ休業
	30	金			神戸	0800靖国神社例大祭ニ付キ船飾施行
	（記事）3月26日～3日、4回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送） 終了後神戸停泊し船内整備等を実施					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年5月の出来事
5	1	土			神戸	
	2	日			神戸	1300日曜ニ付休業
	3	月			神戸	
	4	火			神戸	1830防空演習ノタメ灯火管制ヲ施行シ見張員ヲ配置ス
	5	水			神戸	1000東山学校（川崎汽船所屬普通海員養成所）生徒73名見学許可 1455氷搭載（1屯）
	6	木			神戸	1000第一短期高等海員養成所教官1名及生徒64名乗船 第一短期高等海員養成所長来船 1040乗船式举行 1300課業始メ 生徒船内案内
	7	金			神戸	1100食料品（米、野菜）積込 1300課業始メ 当番心得説明(三運)
	8	土			神戸	0900大詔奉読式ヲ行フ 1450山下汽船実習員2名上船ス
	9	日	神戸	若松	神戸 備後灘仮泊	0805神戸発若松ニ向フ 1930機関終了
	10	月	神戸	若松	備後灘仮泊 部埼錨地	0545抜錨 2050部埼錨地仮泊機関終了
	11	火	神戸	若松	部埼錨地 若松	1105抜錨部埼錨地発若松港ニ向フ 1330若松港着機関終了 1603第2番艙石炭搭載開始 1800第2番艙荷役中止仲士退船ス

	12	水			若松	0730一機 次通士及生徒67名炭坑見学ノ為上陸 0844石炭荷役開始（二番船艙及凹甲板） 1125二番艙荷役終了（533噸）1205一番艙荷役開始 1400荷役終了（総数653噸）1545小学校教員20名本船見学ノ為来船ス 2220警戒警報発令サル 灯火管制施行
	13	木	若松 小豆島經由	草壁	若松 小部湾仮泊	0620拔錨若松発尼崎ニ向フ 1900警戒警報発令中ニツキ灯火管制施行 2035小部湾仮泊
	14	金	若松 小豆島經由	草壁	小部湾仮泊 小豆島草壁	0405拔錨 1255草壁港外入港ス 1900灯火管制施行
	15	土			小豆島 草壁	0600船長、三運、二機、船医、事務長、首通士及生徒32名普通海員16名神懸登山ノ為上陸 1300休業 一運、二運、機長、一機、次通士及生徒36名普通海員18名神懸登山ノ為上陸ス 1610警戒警報解除サル
	16	日	小豆島（草壁）	尼崎	小豆島（草壁） 尼崎港外	0905拔錨 1615尼崎港外ニ仮泊ス 1700映写会ヲ行フ
	17	月	小豆島（草壁）	尼崎	尼崎港外仮泊	0555作業始メ 荷役準備及入港準備作業
	18	火	小豆島（草壁）	尼崎	尼崎港外仮泊 日本発送電岸壁	0830拔錨 尼崎ニ向フ 0910日発岸壁繋留尼崎着 船内荷役人夫来船ス 0920課業始メ 生徒荷役見学 1030一番及二番船艙揚荷役開始ス 1300課業始メ生徒日本発送電尼崎工場見学及荷役見学並監督 1640一番艙揚荷終了 2000異常無シ終夜揚荷続行ス
	19	水	尼崎	神戸	日本発送電尼崎岸壁 神戸第四区錨地	0130第2番艙及凹甲板揚荷終了シ揚荷完了ス 船内人夫退船ス 0525課業始メ 荷役後始末 0815尼崎発 0955第四区錨地ニ碇泊ス 1300課業始メ 船内大掃除 1830日本丸乗船訓練ニ関シテ感想文作製
	20	木			神戸第四区錨地	0830第一短期高等海員養成所生徒下船式挙行（於後甲板）0900同上生徒64名下船 休業
	21	金			神戸	0525課業始メ 生徒乗船準備及第1番艙清掃作業 1030第一短期高等海員養成所機関科生徒34名乗船ス 1045乗船式挙行 式終了後船内案内 1300課業始メ 船内見学 1330短期養成所々長、進徳丸船長来船
	23	日			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機分解手入 料理人出征ノ為下船ス 1300課業始メ 機関生徒主機分解手入
	24	月			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機分解手入 1300課業始メ 機関科生徒主機分解手入
	25	火			神戸	0900課業始メ 主機分解手入（機関科生徒） 1300課業始メ 機関科生徒主機分解手入 1600補課始メ 方向探知機、電池室、電動機室及無線室 機械説明
	26	水	神戸	洲本	神戸 洲本	0900拔錨 1200洲本ニ碇泊ス
	27	木	洲本	神戸	洲本、神戸	0800海軍記念日ニ付船飾施行ス 1300拔錨 1605神戸第四区錨地ニ碇泊ス 1830機関科生徒感想文作成
	28	金			神戸	0900課業始メ 短期生徒機関学講話及退船準備 1245短期機関科生徒退船式挙行ス 1300同上生徒大成丸ニ転船ノ為退船ス 1350短期機関科生徒34名大成丸ヨリ転船乗船ス 直ニ乗船式挙行（於後甲板） 1400同上生徒分隊編成及船内案内
	29	土	神戸	郡家	神戸、郡家沖	0905拔錨 1250郡家碇泊 1330船長、二運、機長、船医、次通士、教官、生徒37名及普通海員14名伊弉諾神社参拝ノ為上陸ス
	30	日	郡家	神戸	郡家沖、神戸	0900課業始メ 短期生徒機関学（於機関室） 1305拔錨郡家発神戸ニ向フ 1310課業始メ短期生徒機関室見学 1545神戸着
	31	月			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機分解手入 1300課業始メ機関科生徒機関作業
	（記事）6日～20日第一短期高等海員養成所生徒64名乗船 5回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送）を実施（9日～19日） 21～28日第一短期高等海員養成所機関科生徒34名乗船。28日に退船し大成丸へ転船 28日に短期機関科生徒34名大成丸ヨリ転船し乗船					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年6月の出来事
6	1	火			神戸	0900課業始メ 短期生徒主機分解手入 1300課業始メ 短期生徒主機分解手入

1943（昭和18）年

	2	水			神戸	0900機関科生徒主機分解手入 1300課業始メ 機関科生徒機関説明
	3	木			神戸	
	4	金			神戸	0525課業始メ 短期生徒下船準備及寝具返還 0830第一短期高等海員養成所機関科生徒下船式挙行 0900同教官以下34名下船ス
	5	土			神戸	0800故山本元帥国葬日ニ付半旗ノ礼施行ス 1050遥拝式挙行ス
	6	日			神戸	0800二運及生徒7名檀原神宮参拝ノ為上陸ス
	7	月			神戸	0900課業始メ 生徒乗船準備
	8	火			神戸	0525課業始メ 生徒乗船準備 1000第三短期高等海員養成所教官及生徒32名乗船ス 1010乗船式挙行ス
	9	水			神戸	0525課業始メ 石炭搭載準備作業
	10	木	神戸	大三島（宮浦）	神戸、大三島宮浦	0505抜錨 1941機関終了 大三島宮浦ニ碇泊ス
	11	金	大三島 宮浦	若松	大三島（三島内） 宮浦	1720抜錨
	12	土	大三島 宮浦	若松	部崎錨地、若松	1030若松着 1225二番船艙石炭搭載開始ス 1740荷役中止（381噸）1820人夫退船ス
	13	日			若松	0950凹甲板荷役開始 0950凹甲板荷役終了 1043一番船艙荷役開始 1145荷役完了（633噸） 1155人夫15名退船ス
	14	月	若松	松山	若松 松山	0640抜錨 1830松山港碇泊
	15	火			松山	
	16	水	松山	尼崎	松山 小部湾	1745抜錨 1940小部湾ニ仮泊ス
	17	木	松山	尼崎	小部湾 尼ヶ崎沖仮泊	0505抜錨 0900課業始メ 荷役準備作業 2000尼崎港沖ニ仮泊ス
	18	金	松山	尼崎	尼ヶ崎沖仮泊、日本発送電岸壁	0745抜錨尼崎港ニ向フ 0815日本発送電尼崎岸壁ニ繫留 0900二番船艙石炭揚荷開始ス 0915普通海員荷役助力 1300課業始メ 生徒総員日本発送電工場見学（1300～1415） 荷役監督及見学 普通海員荷役助力 1715揚荷役中止ス
	19	土	尼崎	神戸	尼崎（日本発送電岸壁） 神戸（敏馬沖錨地）	0525普通海員荷役用具整備作業 0830人夫来船 一番、二番艙及凹甲板揚荷開始ス 1340一番船艙揚荷終了 1530二番船艙揚荷終了 1600凹甲板荷役終了 人夫退船ス 1620抜錨尼ヶ崎発神戸ニ向フ 1750神戸港第四錨地ニ仮泊ス
	20	日			神戸	1810生徒軍歌及船歌練習
	21	月			神戸	0525普通海員荷役後始末 1830感想文作成及映写会施行
	22	火			神戸	0830第三短期高等海員養成所生徒下船式施行ス 0900第三短期高等海員養成所生徒32名下船ス
	23	水			神戸	
	24	木			神戸	1330辰馬汽船株式会社普通海員養成所教官外生徒計50名見学ノタメ来船
	25	金			神戸	0800皇太后陛下御誕生日ニツキ船飾施行ス 1400訓練所所員来船ス
	26	土			神戸	
	27	日			神戸	1300 日曜ニツキ休業ス
	28	月			神戸	
	29	火			神戸	
	30	水			神戸	0525課業始メ 生徒食堂他大掃除 0845大映撮影団来船
	（記事）5月28日～4日第一短期養成所機関科生徒34名乗船 8日～22日第三短期高等海員養成所生徒32名乗船 6回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送）を実施（6月10日～19日）					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年7月の出来事
7	1	木			神戸	
	2	金			神戸	
	3	土			神戸	
	4	日			神戸	
	5	月			神戸	1040学徒振興会人見少佐外1名事務打合せノ為来船
	6	火			神戸	
	7	水			神戸	
	8	木			神戸	
	9	金			神戸	
	10	土			神戸	

1943（昭和18）年

	11	日			神戸	
	12	月			神戸	
	13	火			神戸	
	14	水			神戸	0920給油船来船し給油開始
	15	木			神戸	
	16	金			神戸	1520海洋学徒訓練振興会連絡員来船（12名）
	17	土			神戸	
	18	日			神戸	1100大日本学徒振興会神戸支部長（神戸地方海軍人事部長）外便乗者12名及海洋学徒48名乗船ス 1115同上乗船式挙行ス 1320海洋学徒課業始メ 船内案内及櫓登訓練 諸当直及当番説明
	19	月	神戸	高松	神戸、高松	0900抜錨神戸発高松ニ向フ 0940課業始メ 学徒救命胴衣実施及航路見学 人見少佐講話 1300課業始メ 学徒講話 1650高松ニ碇泊ス
	20	火			高松	0800海ノ記念日ニ付キ船飾トス 0830海ノ記念日記念式挙行 0840船内公開開始 見学団来船 0900海洋学徒46名上陸ス 1000海洋少年団常務理事日暮少将来船ス 1100日暮少将退船ス 1340乗組慰問ノ為鉄道員吹奏団ニヨリ吹奏楽挙行 1635海洋学徒46名帰船ス 1730見学者総員退船ス（合計1100名）
	21	水	高松	若松	高松	0745抜錨若松ニ向フ 0900課業始メ 学徒航海実習及航路見学 1300学徒航海実習 1900海洋学徒座談会施行
	22	木	高松	若松	部埼錨地 若松	0610課業始メ 学生退船準備 1200若松港M錨地ニ繫留完了碇泊ス 1330海洋学徒退船式挙行ス 1355海洋学徒（48名）及便乗者（9名）退船ス 1425第2番船艙積荷開始ス 1440若松市主催海上慰問隊一行（47名）来船 1550同上船内見学後退船ス 1645同上（19名）見学ノ為来船 1715同上退船 1800積荷役中止船内人夫退船ス
	23	金			若松	0700第2番船艙積荷役開始ス 1015海洋学校54名便乗者4名乗船ス 1045学徒海洋訓練乗船式挙行 1300積荷役終了633噸積載 1510抜錨若松発松山ニ向フ 1900宇部港沖仮泊
	24	土	若松	松山	松山	0550抜錨宇部沖発松山ニ向フ 0900課業始メ 海洋学徒 航海運用（一運） 1300課業始メ 学徒機関講話 1605松山沖ニ碇泊ス 1850 1925海洋学徒軍歌練習
	25	日	松山	尼崎	松山	0800学徒54名便乗者4名上陸 0900休業 1200学徒帰船 1300課業始メ 学徒短艇練習 1435抜錨松山発尼崎ニ向フ 2150栗島沖仮泊
	26	月	松山	尼崎	尼崎、日本発送電岸壁	0430栗島沖発尼崎ニ向フ 1655日本発送電岸壁繫留完了 1700人夫来船シ揚荷開始ス 1900学徒感想発表会
	27	火	尼崎	神戸	尼崎、日本発送電岸壁 神戸	0900課業始メ 学徒短艇帆走練習普通海員荷役監督 1230石炭揚荷役終了 船内人夫退船 1345尼ヶ崎発神戸ニ向フ 1500神戸第四区錨地ニ碇泊ス 1530海軍人事部神戸支部長大野大佐来船 1600海洋学徒訓練終了 学徒下船式挙行 1630大野大佐指導官2名学徒54名便乗者3名退船
	28	水			神戸	0900課業始メ 荷役動索具取外シ格納
	29	木			神戸	
	30	金			神戸	1050第三短期高等海員養成所引率教官1名生徒37名乗船 1100後甲板ニ於テ生徒乗船式挙行ス 式終了後分隊編成 1305海王丸船長及二運事務打合せノ為来船サル
	31	土			神戸	
	（記事）中旬まで神戸に停泊し、船体整備作業等を実施 18日～22日海洋学徒48名乗船 7回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送）を実施(19日～27日) 23日～27日海洋学徒54名乗船 30日～8月12日第三短期高等海員養成所生徒37名乗船					
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年8月の出来事
8	1	日			神戸	
	2	月	神戸	大竹	神戸	0935抜錨神戸発大竹ニ向フ 1335之字運動開始 2155備後灘仮泊
	3	火	神戸	大竹	大竹	0335抜錨 1150大竹着 1300船長 事務長 上陸 潜水学校公式訪問ニ赴カル 2020生徒総員映画見学ノ為潜水学校ニ赴ク

	4	水			大竹	0800首二運 二運 三運 一機 教官及生徒43名潜水学校ニ講話聴講ノ為上陸（1155帰船） 1245首二運、忒機、船医、次通士及生徒43名潜水学校見学ノ為上陸（1640帰船） 1650海王丸士官及生徒総員来船ス 1700潜水学校教頭外4名来船 1725潜水学校教頭講話施行ス（対潜防禦法）
	5	木	大竹	松山	松山	0800拔錨大竹発戦技訓練ノ為伊予灘二出動 0900課業始メ短期生徒航海実習及戦技訓練説明 1215戦技訓練開始 1330之字運動始ム 1430之字運動止メ松山港ニ向フ 戦技訓練終了 1535松山港入港碇泊ス
	6	金			松山	
	7	土			松山	
	8	日	松山	丸亀	丸亀	0800大詔奉読式挙行ス 0835松山発丸亀ニ向フ 1735丸亀二碇泊ス
	9	月			丸亀	
	10	火	丸亀	神戸	丸亀 神戸	0410拔錨丸亀発神戸ニ向フ 1330神戸第四区二碇泊ス
	11	水			神戸	0825船長大成丸二赴ク 0900課業始メ 首通士、事務員及生徒37名普通海員10名上陸（生徒湊川神社参拝） 0915燃料油搭載開始（搭載量25噸） 1240大成丸船長以下9名来船 1315第二短期教頭以下4名来船。打合会開催 1415生徒作業始メ感想文作成 1900映写会
	12	木			神戸	0830第3短期生徒下船式挙行 0845教官及生徒37名下船 1030国民学校職員10名児童38名来船見学
	13	金			神戸	0900課業始メ 生徒乗船準備 燃料油搭載開始（25噸） 1050教官及第三短期機関科生徒47名乗船 1100乗船式挙行 1115分隊編成
	14	土			神戸	0900課業始メ 短期生徒（半舷宛）主機分解手入 0905大成丸船長及海王丸船長 一運来船 1300課業始メ 短期生徒（半舷宛）主機分解手入 1530課業止メ 補課始メ 総員水泳施行ス
	15	日			神戸	0840第四短期機関生徒33名機関見学ノ為来船ス 0900本船短期生徒47名進徳丸見学ノ為上陸ス
	16	月			神戸	0900課業始メ 機関科生徒半舷 主機分解手入 半舷端艇練習 1300課業始メ 機関科生徒半舷 主機分解手入 半舷端艇練習
	17	火			神戸	0900課業始メ 短期生徒主機関組立及帆乾燥及端艇帆走練習 1300課業始メ 短期生徒主機関組立及端艇○走訓練及帆格納作業 1530課業止メ 補課始メ 総員水泳 1625補課止メ 行水
	18	水			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機分解手入 帆乾燥 1300課業始メ 機関科生徒主機分解手入 帆格納 1535補課始メ 水泳
	19	木			神戸	0900課業始メ 航海科生徒天測実習 機関科生徒補助○汽機分解組立 1300課業始メ 航海科生徒航海実習 機関科生徒補助○汽機分解組立 1425水上警察署員「コレラ」予防注射打合ノ為来船
	20	金			神戸	0900課業始メ 短期生徒半舷機関実習 1130午前中短期生徒ヲ除ク総員コレラ第一回予防注射施行ス 1300課業始メ 短期生徒機関実習半舷乾燥物格納及自習其他
	21	土	神戸	高松	神戸、高松	0905拔錨神戸発高松ニ向フ 1722機関終了
	22	日			高松	0745一機、教官及機関科生徒47名金刀比羅宮参拝上陸 0830日曜ニツキ休業トス
	23	月	高松	神戸	高松、神戸	0605拔錨高松発神戸ニ向フ 0900課業始メ 機関科生徒機関実習及操舵機械説明 1300機関科生徒機関実習及操舵機械説明 1435神戸第四区二碇泊 1535総員水泳
	24	火			神戸	0900課業始メ 機関生徒操舵機械及び帆走練習 0900課業始メ 機関生徒操舵機械及帆走練習 コレヲ予防注射第二回目施行 1600補課始メ 軍歌練習

	25	水			神戸	0900課業始メ 総員洗濯大掃除 1300短期生徒湊川神社参拜ノ為総員上陸 1830感想文認メ方及映写会
	26	木			神戸	0525課業始メ 生徒下船準備 0825第三短期高等海員養成所機関科生徒下船式挙行ス 0840短期生徒下船ス
	27	金			神戸	
	28	土			神戸	1040海王丸船長及事務長来船 1300生徒乗船準備作業 1455第二短期高等海員養成所教官1名及生徒34名乗船直ニ乗船式挙行ス 1520課業始メ 分隊編成及船内案内
	29	日			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機関分解手入 1300課業始メ 機関科生徒 機関学（機長）及船務一般解説（一運）
	30	月			神戸	0525課業始メ 機関科生徒主機関分解手入 0900課業始メ 生徒下甲板大掃除及主機関分解手入 1300課業始メ 機関科生徒主機関分解手入れ 1340海王丸船長及一運来船 1450清水高等商船学校訓育部長以下3名来船 1830 1930 機関学講義(一機)
	31	火			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機関分解手入 1545補課始メ 体操及水泳
（記事）7月30日～12日第三短期高等海員養成所生徒37名乗船 4, 5日広島県大竹にある海軍潜水学校で姉妹船海王丸とともに訓練 13日～26日第三短期高等海員養成所機関科生徒47名乗船 28日～9月10日第二短期高等海員養成所生徒34名乗船						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年9月の出来事
9	1	水			神戸	0525課業始メ 主機分解手入 0845進徳丸機関科生徒33名乗船 0900本船機関科生徒進徳丸機関見学ノタメ進徳丸二赴ク 機関科生徒本船機関説明 1300課業始メ 機関科生徒本船機関見学 1830大坂警備府管区警戒警報発令 灯火管制施行ス
	2	木			神戸	0900課業始メ 短期生徒機関実習及説明 1300課業始メ 短期生徒機関実習及説明 1525糧食米30俵積込 1745軍歌始メ 1830灯火管制施行
	3	金			神戸	0900課業始メ 機関科生徒主機分解手入及講話 1300課業始メ 機関科生徒主機分解手入及講話 1230警戒警報解除
	4	土			神戸	0525課業始メ 機関科生徒機関実習 0900課業始メ 機関実習及説明 1300機関実修説明 1600補課始メ 機関実習
	5	日			神戸	0900課業始メ 機関実習 1300課業始メ 機関実習 1540補課始メ 水泳
	6	月	神戸	草壁	神戸 草壁	0900抜錨 神戸発草壁二向フ 0930課業始メ 機関科生徒機関実習 1300課業始メ 機関科生徒機関実習 1535草壁着
	7	火	草壁	志度	草壁 志度	0930二運、三運、一機、二機、船匠、生徒、普通海員上陸 1035進徳丸船長及機関長来船サル 1330課業始メ 機関科生徒端艇帆走練習及水泳 1650抜錨 草壁発志度二向フ 1825志度二碇泊ス
	8	水			志度	0700大詔奉読式挙行ス 0900休業 日曜日課施行ス
	9	木	志度	神戸	志度、神戸	0505抜錨 1215神戸港第四区二碇泊 1600補課始メ 操舵機説明 1630行水施行 1830 1945 映写会施行
	10	金			神戸	0700生徒退船準備 0800生徒下船式挙行ス 0815第二短期高等海員養成所機関科生徒34名及引率教官1名退船ス 1300課業始メ 船内整備作業及生徒乗船準備
	11	土			神戸	0810清水高等商船学校教授外5名訓練打合せノ為来船ス 0905海王丸船長外3名来船ス 1225給水船来着。給水開始（100噸）
	12	日			神戸	
	13	月	神戸	高松	神戸、高松	0835清水高等商船学校教授訓育官教員（12名）及 生徒97名乗船ス 0840乗船式挙行ス 0925清水高等商船学校校長来船 1005抜錨 神戸発高松二向フ 1300課業始メ 生徒船内旅行 2000高松入港
	14	火			高松	0830教官（13）生徒97名琴平参拜ノ為上陸 1010海王丸短艇来着海王丸職員来船ス

	15	水	高松	神戸	高松、神戸	0555抜錨 高松発神戸二向フ 0900課業始メ 之字運動見学 0910之字運動H法開始（基準針路北75度東）1010之字運動H法中止 1030之字運動G法開止 1130之字運動G法中止 1300課業始メ 溺者救助操練 1425溺者救助操練開始 1525神戸着
	16	木			神戸	0830生徒課業始メ 実習考查 1110清水高等商船学校教頭及訓育部長来船 1145生徒退船式挙行ス 1200清水商船教育訓育官及教育（9名）生徒97名退船ス
	17	金	神戸	高松	神戸	0900清水高等商船学校訓育（6名）生徒（96名）乗船。乗船式ヲ挙行ス 0955抜錨 神戸発高松二向フ 1300課業始メ 清水生徒船内旅行 1830高松二入港
	18	土			高松	0830清水高等商船学校教官（10名）生徒（95名）琴平参拝ノ為上陸
	19	日	高松	神戸	高松、神戸	0600抜錨 高松発神戸二向フ 1300課業始メ 溺者救助操練説明実施 1540之字運動開始 1735神戸着
	20	月			神戸	0815清水生徒課業始メ 考查施行 1030生徒退船準備 1250清水高等商船学校教官（10名）生徒（95名）退船
	21	火	神戸	高松	神戸、高松	0850清水高等商船学校教官（13名）及生徒（96名）乗船ス 0910乗船式施行 1000抜錨 1300課業始メ 清水生徒船内旅行 1840高松入港
	22	水			高松	0830清水高等商船学校教官教員及生徒総員金刀比羅宮参拝上陸 0910海王丸船長及一等運転士機関長来船 1600海務院船員部教育課長乗船サル
	23	木	高松	神戸	高松、神戸	0600抜錨 0910之字運動H法開始 1005之字運動H法中止 1400溺者救助操練開始 1500神戸着 1630 1700軍歌練習
	24	金			神戸	0800秋季皇霊祭二付船飾施行 1145清水高等商船学校生徒退船式挙行 1200生徒退船
	25	土			神戸	
	26	日			神戸	0815油槽船接舷燃料油搭載開始 1010燃料油搭載完了 二重底及ビ中央燃料油艙へ75噸積載
	27	月			神戸	0900課業始メ 生徒乗船準備
	28	火			神戸	0515課業始メ 生徒乗船準備 0900生徒乗船準備 1300生徒乗船準備
	29	水			神戸	0525生徒乗船準備
	30	木			神戸	
（記事）28日～9月10日 第二短期高等海員養成所生徒34名乗船 9月1日進徳丸機関科生徒33名乗船、日本丸機関科生徒進徳丸機関見学 13日～16日清水高等商船学校生徒97名乗船 17日～20日清水高等商船学校生徒96名乗船 21日～24日清水高等商船学校生徒96名乗船						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年10月の出来事
10	1	金			神戸	0940生徒94名乗船 1000生徒乗船式挙行
	2	土			（空欄）	0900課業始メ 生徒総員身体検査 1400進徳丸生徒5名及海王丸生徒3名身体検査ノ為来船 1830身元調査施行ス
	3	日			神戸	
	4	月			神戸	
	5	火			神戸	0900課業始メ 生徒総員実力考查 1300課業始メ生徒総員実力考查
	6	水			神戸	
	7	木			神戸	1300課業始メ 半舷短艇 半舷小銃手入及雑業
	8	金			神戸	0900大詔奉読式挙行
	9	土			神戸	0900課業始メ 所感文ノ書方
	10	日			神戸	0900生徒乗船所感文認メ方及ビ自習
	11	月			神戸	
	12	火			神戸	
	13	水			神戸	0905防火操練開始 1225東亜海運普通海員養成所生徒（15名）見学ニ来訪 1500補課始メ 体操及ビ軍歌練習
	14	木			神戸	
	15	金			神戸	

1943（昭和18）年

	16	土			神戸	0800靖国神社祭ニツギ船飾ヲ行フ 1015靖国神社遥拝式挙行
	17	日			神戸	0800神嘗祭ニ付船飾施行ス 0845海洋学徒20名乗船（訓練ノタメ） 0900生徒47名普通海員10名上陸許可（生徒は摩耶山登山） 1000総員後甲板集合 神嘗祭ニ付遥拝ヲ挙行ス 1300海洋学徒20名帰船ス
	18	月	神戸	高松	神戸、高松	0905抜錨 1732高松港外碇泊
	19	火			高松	
	20	水			高松	0830一運、三運、次三運、一機、次通士、生徒48名普通海員14名金刀比羅宮参拝ノ為上陸
	21	木	高松	弓削	高松、弓削	0540出港準備作業 0845抜錨 高松発弓削二向フ 1455弓削碇泊 1515砂取ノ為生徒派遣 1540弓削商船学校教官8名来船
	22	金			弓削	0835弓削商船学校教官13名生徒180名来船（本船見学ノタメ） 1300船長、一運、二運、首三運、機長、弓削商船学校教官、本船生徒93名普通海員12名上陸（商船学校見学ノタメ）
	23	土	弓削	若松	弓削、部崎仮泊錨地	0515抜錨 0900課業始メ 石炭搭載準備 2235部崎錨地仮泊
	24	日	弓削	若松	部崎錨地、若松	0540課業始メ 入港準備作業 0900抜錨 1200機関終了
	25	月			若松	1030石炭搭載開始 1125石炭運搬機故障ノ為メ積荷中止
	26	火			若松	0810石炭搭載開始ス（第2船艙）0900船内人夫（12名）乗船 1420石炭搭載終了 搭載量612噸（＃1船艙118噸 ＃2及凹甲板494噸） 1515課業止メ直ニ作業始メ荷役後始末及上甲板流シ方 1610作業止メ
	27	水	若松	松山	若松、松山	0840抜錨 2358松山港碇泊
	28	木			松山	
	29	金	松山	尼崎	松山	1625抜錨 1905小部湾仮泊ス
	30	土	松山	尼崎	小部湾、尼崎港外	0530抜錨 2315尼崎港外仮泊
	31	日	松山	尼崎	日本発送電岸壁	0540課業始メ 荷役準備 0750抜錨 発送電岸壁二向フ 0830発送電岸壁繋留 0920石炭揚荷開始 1300課業始メ 生徒総員発電所見学 1415一番船艙揚荷終了 2400石炭揚陸続行
（記事）1日～1944（昭和19）年3月25日第十四期生徒94名乗船 7日小銃手入 17日海洋学徒20名乗船 22日弓削商船学校生徒180名見学のため来船 8回目の戦時緊急物資輸送（石炭輸送）を実施(23日～11月1日)						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年11月の出来事
11	1	月	尼崎	神戸	尼ヶ崎 神戸	0020石炭揚荷終了 0830尼崎発神戸二向フ 1000神戸着
	2	火			神戸	
	3	水	港外出動		神戸	0800明治節ニツギ船飾施行 0830中学生乗船（250名） 0900明治節遥拝式及ビ中学生乗船式挙行 碇泊訓練開始 1000中学生訓練ノ為メ港外出動 航海訓練開始 1100中学生講話（一運）1300碇泊訓練開始 1430海軍航空機ト合同訓練開始 1615中学生退船式 1815第十四期生徒歓迎茶話会始メ
	4	木			神戸 三菱第2浮船渠	0900午前中ノミ日曜日課施行ス 1300課業始メ 入渠準備 1335抜錨 1415三菱船渠長及工員乗船船渠長指揮ノ下第二号浮船渠二向フ 1505三菱船渠第2号浮船渠ニ繋止 1510排水開始 1735船渠浮揚 1800工員作業止メ
	5	金			神戸 三菱第2浮船渠	0555課業始メ 生徒船底清掃作業及見学 0730工員作業開始錨関係作業 1300生徒進水式見学
	6	土			神戸 三菱第2浮船渠	0555課業始メ 船底貝落作業 0730工員作業開始 船底塗粧（No.1船底塗料）0925食堂ニ於テ進水式ト計画造船ニ就テ講話アリ 生徒総員聴講ス 1130推進器軸検査施行 0530課業止メ 当直分隊作業継続
	7	日			神戸 三菱第二浮船渠	0730工員作業開始 船底塗粧（2号及3号塗料）及吃水標塗標 1300課業始メ 改A型戦時標準船江ノ島丸見学 及船渠一般研究及見学

	8	月			神戸 三菱第2浮船渠 B浮標	0555課業始メ 生徒駈足及船底見学 出渠準備作業 0730工員作業開始 船渠注水ヲ開始ス 鳥羽商船学校長来船 0905出渠開始 0920（三菱B）浮標繫留 0930大詔奉読式施行 0950造兵課長講話（潜水艦ニ関シテ）
	9	火			神戸 三菱B浮標	0930艦装ノ話（三菱船渠技師）生徒聴講ス
	10	水			神戸 三菱B浮標	0900燃料油搭載（30噸）
	11	木			神戸 三菱B浮標	
	12	金	神戸	小豆島 草壁	神戸 小豆島草壁	0824繫留索ヲ放ツ 1435草壁入港
	13	土			小豆島草壁	0700船長、二運、次三運、四運、機長、船医、次通士生徒50名普通海員12名神懸登山上陸 1230一運、三運、一機、事務員、生徒45名普通海員16名神懸登山上陸
	14	日	小豆島草壁	小松	小豆島草壁、屋代島仮泊	0630抜錨 草壁発小松二向フ 1915屋代島二仮泊ス
	15	月	小豆島草壁	小松	屋代島仮泊、小松	0900抜錨屋代島仮泊地発小松二向フ 1010大島商船学校教官6名生徒75名来船 1030大島商船学校長来船 1330大島商船学校教官13名生徒200名来船
	16	火			小松	0900次三運及生徒60名及普通海員11名上陸（大島商船学校見学）船内公開 1330課業始メ 生徒整備作業及見学者案内及大島商船学校生徒航海実習指導補助 船長、三運及生徒65名上陸（大島商船学校見学及武道試合） 1600船内公開終了来船見学者約1000名（大島校生徒ヲ含マズ） 1730大島商船学校長及教官（9名）来船ス
	17	水			小松	1120大島商船学校生徒（320名）国民学校生徒（350名）来船 1130大島商船学校教官23名来船 1210大島商船学校生徒及国民学校生徒海上訓練ノ為出動 1530訓練終了 錨地帰着 1545外来者総員退船
	18	木	小松	別府	小松、別府	0755抜錨小松発別府二向フ 1430別府碇泊
	19	金			別府	
	20	土			別府	
	21	日	別府	神戸	別府、松山仮泊	0815抜錨別府発神戸二向フ 1230八島灯台北1/2西8運ニ望ミ針路北東微北ニ変ズ（海軍艦船実弾射撃実施中ノ為） 1600松山仮泊
	22	月	別府	神戸	松山 及備後灘仮泊	1230抜錨 松山仮泊錨地発神戸二向フ 1810三崎沖仮泊
	23	火	別府	神戸	備後灘大角鼻沖仮泊	0800抜錨 1215大角鼻仮泊 1300生徒大角鼻灯台見学
	24	水	別府	神戸	大角鼻沖仮泊神戸碇泊	0705抜錨 大角鼻発神戸二向フ 1230神戸港入港 1545補課始メ軍歌
	25	木			神戸	
	26	金			神戸	
	27	土			神戸	0730首三運、二機、局長、生徒46名、普通海員1名上陸（檀原神宮参拝）
	28	日			神戸	0730次三運、四運、機長、生徒47名上陸（檀原神宮参拝）
	29	月			神戸	
	30	火			神戸	
（記事）10月1日～1944（昭和19）年3月25日第十四期生徒94名乗船 3日中学生250名乗船 4日～12日三菱神戸入渠 11月7日三菱神戸にて戦時標準船江ノ島丸見学 8日「潜水艦ニ関シテ」講話聴講 15日～17日大島商船学校生徒来船及び日本丸から学校訪問 16日小松にて船内公開（1000人以上見学）						
月	日	曜日	From	Towards	Lying at	1943年12月の出来事
12	1	水			神戸	
	2	木			神戸	0900課業始メ 被徴傭船員服務規程
	3	金			神戸	
	4	土			神戸	
	5	日			神戸	1100辰馬汽船株式会社普通海員養成所教官及生徒33名本船見学ノタメ来船
	6	月	神戸	松山	神戸、松山	0600船長訓示 0610抜錨神戸発松山二向フ 2040松山港ニ碇泊ス
	7	火			松山	1545補課始メ 総員体操及軍歌練習
	8	水			松山、泊湾	0840大詔奉読式施行
	9	木			泊、松山	

1943（昭和18）年

	10	金			松山	0900課業始メ 生徒国民学校生徒訓練指導補助及雑業 1000国民学校引率訓練19名及生徒259名乗船便乗者11名乗船 1020乗船式挙行ス 1030船内案内 1100各種訓練開始ス（手旗及旗旒信号、登櫓甲板洗）1225抜錨 国民学校生徒特別訓練ノ為出動 1230各種訓練開始ス 1330訓練終了 1350溺者救助操練施行ス 1425操練終了第5救助艇収納 1435信号火器説明及実施 1520投錨 同上特別訓練終了 直ニ退船式挙行ス 1600国民学校訓練及生徒並便乗者退船ス
	11	土	松山	宇和島	松山、宇和島	0735抜錨 1306高島海軍見張信号所ト交信開始ス 1655宇和島ニテ碇泊
	12	日			宇和島	1815愛媛合同新聞社大谷氏時局講話アリ
	13	月			宇和島港	1300課業無シ 糧食搭載ノ為端艇派遣
	14	火			宇和島	0843国民学校教員及生徒327名乗船 0900乗船式挙行 0945国民学校生徒海上訓練開始 1145海上訓練中止 1235海上訓練ノ為出動ス 1415出動訓練終了 1450国民学校生徒退船式挙行 1530伊達図書館長講話 1800伊達図書館長退船
	15	水			宇和島	0900課業始メ見学者案内及ビ雑業 0950見学者約250名来船 1300課業始メ見学者案内及ビ雑業 1345見学者約350名来船 1630見学者総員退船 1850宇和島市々長以下10名来船 1955同上退船
	16	木	宇和島	神戸	宇和島	0800抜錨宇和島発神戸ニ向フ
	17	金	宇和島	神戸	神戸	0935神戸港第四区碇泊
	18	土			神戸	
	19	日			神戸	
	20	月			神戸	1545補課始メ 軍歌
	21	火			神戸	
	22	水			神戸	
	23	木			神戸	
	24	金			神戸	
	25	土			神戸	
	26	日			神戸	
	27	月			神戸	
	28	火			神戸	
	29	水			神戸	
	30	木			神戸	1110給油船着重油43屯搭載ス
	31	金			神戸	
（記事）10月1日～1944（昭和19）年3月25日第十四期生徒94名乗船 神戸、松山、宇和島停泊時に国民学校生徒や船会社の船員養成所生徒など多数乗船し、船内見学や海上訓練を実施した。18日以降は神戸に停泊を続け、船体整備や端艇帆走訓練、天測実習などを行った。						